京都フィロムジカ管弦楽団

第46回 定期演奏会

リムスキーコルサコフ／交響曲第3番
ドヴォルジャーク／交響曲第8番

2019年12月22日(日) 午後1時開場 2時開演

八幡市文化センター（ホール）

http://www.yawata-bunka.jp

指揮
岡本 一生

ヴァイオリン
坂 美貴江

前売券800円（当日券900円） 自由席

【チケット取り扱い】
八幡市文化センター、京阪八幡市駅二条本店（開店10分前後券売）
【お問い合わ】
070-4004-4000　kyotophilo@gmail.com
ホームページでもご予約を受付中
http://www.kyotophilo.com/

車椅子席ご希望の方は事前にご連絡ください。ご入場は遅くとも開演15分前までにお願いします。
演奏の都合により、やむを得ない場合はご入場いただけないことがあります。

京都フィロムジカ管弦楽団　第46回定期演奏会

今回のコンビュジの演奏をする、弦楽合奏団を取り巻くあらゆるジンルの場面の演奏をします。

1曲目はこの作品家ムスキーコルサコフの代表作の1曲です。ムスキーコルサコフはロシア国民楽派（ロシアナショナリズム）の作曲家でもあります。この作曲家の曲はなじみ深いものも多いですが、この曲を聴いたことがあるという人は少ないかもしれません。しかしながら、ロシア音楽らしい美しさで聴いていて、楽しめる曲だと思います。そしてリムスキーコルサコフの特徴であると言われるような美しい響きなどの魅力に満ちた作品です。ぜひ足を運んでください。

最初の楽しい旋律を持つ「シェヘラザード」とは異なり、この曲は第1楽章の冒頭の暗く重々しい雰囲気で始まります。リムスキーコルサコフの独創を感じ取ることになるかと思います。ぜひ、聴きに来てください。また、海軍軍人という異色の経歴の作曲家にふさわしく、波の動きを感じさせる場面や、海軍の行進曲のようなリムスキーコルサコフならではの楽しみ方をしてください。

1曲目はチェコを代表する作曲家ドヴォルジャークの交響曲第8番です。誰が聞いた事のある、自然を感じる旋律が随所に散りばめられています。また、とてもかっこいい場面もあります。特に、ヴィオラの美しいメロディーから始まる第3楽章は、ドヴォルジャークの中でも最も美しい楽章と言われています。ぜひ、この楽章を聴きに来てください。

最後に、ドヴォルジャークの交響曲第8番は、ドヴォルジャークの作曲家としての才能が最も発揮されている曲であるとも言われています。ぜひ、この曲を聴きに来てください。

指揮　岡本 一生（おかもと かずき）

大阪教育大学教育学部音楽科作曲専攻コース卒業。大阪教育大学大学院修了（教育学修士）。
トヨタ・ハート交響楽団、打楽器・指揮にて活動。京都市ジュニア・フィルハーモニーに指導。
京都府立京都学・歴彩館にて1985年度展覧会（歴史館）展示品（書籍など）の整理、1990年のイベント「京都ルネッサンス」で歴史的な文化人の肖像画の描き下ろし。
2019年、京都府立京都学・歴彩館の開館にあたり、1985年、1990年に京都府立京都学・歴彩館所蔵資料コーナーにて展示。

管弦楽　京都フィロムジカ管弦楽団

Dear 年齢に、京都府内、隣府県にメンバーが在住する演奏家集団として2013年、京都市内の一般市民の方々から、楽しく演奏できる場所の提供をいただき、また、多くの演奏会を開催してきました。また、多くの演奏家の方々と共演し、演奏技術の向上、また、今日の音楽活動にいたるまで、活動を続けてきました。2019年度は、京都府内の演奏家の方々と、演奏技術の向上、また、今日の音楽活動にいたるまで、活動を続けてきました。

新　入　団　員　大　募　集　中

もともと一緒に演奏しませんか？お気軽に練習にお越しください。団員一同お待ちしております！
楽しく、うまくの中で練習します。興味をお持ちの方々もご興味がありましたらご連絡ください！

●募集パート　ヴァイオリン・ヴィオラ・コントラバス　**（ヴァイオリン・ヴィオラ急募！）**
クラリネット・ファゴット　**（ファゴット急募！）**
ホルン・トランペット　／　（編成上）楽器の経験年数について要相談

（練習場所）市いきがいセンターの練習室を使用できるため、交通の便利な場所です。
（練習日時）原則月曜日（祝日は一部除く）、夜に約2.5時間程度（土曜日）
（練習場所）京都府内センター、体育館など会場や内容により異なります。
（入団条件）経験年数（年）を問わず、楽器を演奏できる方。

入団希望の方は、下記までご連絡ください。

京都フィロムジカ管弦楽団　事務局　（e-mail：kyotophilo@gmail.com）